

令和7年9月11日

保護者各位

鳥栖市立基里小学校
校長 下川路 隆之

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和7年度全国学力・学習状況調査について

令和7年4月17日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

- ・本校の国語の全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回りました。
- ・「知識及び技能」における「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」については、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「思考力、判断力、表現力等」については、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のいずれも全国の平均正答率を下回っていました。
- ・「書くこと」では、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落前後の関係に着目したりして文章の構成を考えることができるかをみる問題で、全国の平均正答率を上回りました。また、自分の考えが伝わるような書き表し方の工夫を問う問題では、図表などを用いた表現の工夫についての正答率は高かったです。しかし、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることについての正答率が低く、課題が見られました。
- ・「読むこと」については、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができるかをみる問題において、全国の平均正答率を上回りました。

(2) 算数について

- ・本校の算数の全体平均正答率は、全国の平均正答率と比較して上回っていました。領域別に見ても、全ての領域で全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「図形」領域は、全国の平均正答率を大きく上回りました。特に、台形の意味や性質について理解しているかどうかを見る問題で、全国の平均正答率を大きく上回りました。しかし、基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題では、正答率が低く、課題が見られました。
- ・問題全体として、「知識・技能」を問う問題に比べると、「思考・判断・表現」を問う問題の正答率が低くなっていました。
- ・問題形式別では、どの領域においても記述式の正答率が低くなっていました。特に、分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉

を用いて記述できるかどうかをみる問題では無回答率が高く、課題が見られました。

(3)理科について

- ・本校の理科の全体の平均正答率は、全国の平均正答率と比較して上回っていました。
- ・領域別にみると、「エネルギー」を柱とする領域や「生命」を柱とする領域において、全国の平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「地球」を柱とする領域では、全国平均正答率を下回りました。特に、赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現することができるかどうかをみる問題では、無回答率が高く、課題が見られました。
- ・問題全体として、「知識・技能」を問う問題に比べると、「思考・判断・表現」を問う問題の正答率が低くなっていました。また、記述式の正答率が低くなっていました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問調査結果から見える本校児童の姿

- ・基本的な生活習慣の「朝食」に関する項目では、「毎日食べている」「どちらかといえば、毎日食べている」と回答した児童の割合は、全国の割合を下回っていました。
- ・「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる」「読書は好き」と回答した児童の割合は、全国の割合を大きく上回っていました。
- ・学習した内容を次の学習につないだり、実生活に生かしたりすることができている児童の割合は、全国の割合を大きく上回っていました。
- ・算数については、工夫して計算したり、分からない問題もあきらめずにいろいろな方法を考えたりする児童の割合は、全国の割合を上回っていました。
- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と回答した児童の割合は、全国の割合を上回っていました。
- ・5年生までに受けた授業で「課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた」「各教科などで学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる活動を行っていた」と回答した児童の割合は、全国の割合を上回っていました。
- ・規範意識や自己有用感を示す以下の事項については、全国の割合を上回っていました。
 - 「人が困っているときは進んで助ける」「いじめは、どんな理由があってもいけない」
 - 「困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」
 - 「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」
 - 「地域や社会をよくするために、何かしてみたい」

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・朝のスキルタイムや授業導入時の復習タイム、宿題等の内容や方法を見直したり、四則計算や条件作文に取り組んだりすることで、基礎学力と書く力の向上に努めます。
- ・叙述や問題文の大事なところに線や印を記入する指導を全学年で行い、情報を整理する力や読解力の向上に努めます。
- ・家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 家庭での学習時間をつくってください。

【学習時間：学年数字×10分+10分としております

1年生：20分 2年生：30分 3年生：40分 4年生：50分 5年生：60分 6年生：70分】

◎学習する時間や場所を決めて取り組ませ、学習習慣を身に付けさせましょう。

◎タブレットやスマートフォン等でのSNSや動画、テレビを見る時間、ゲームをする時間を決めて、長時間にならないよう声かけをお願いします。

◎自主的な学習にも取り組むよう、励ましてください。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

◎「早寝・早起き・朝ご飯」を実践して十分な睡眠と朝食がとれるよう、ご協力をお願いします。

◎お子さんががんばったことやよくできたことを、ほめてください。

◎短時間でも継続的に読書をするような声かけや家族で読書をする取り組みへのご協力をお願いします。